



ふくおか [Good] 農業人100

主な農産物 / 米、麦、飼料米、加工品（餅、かしわ飯）他

井上 猛さん (37歳) (営農地 / 筑紫野市阿志岐)

効率化によりゆとりの経営を

《就農のきっかけ》

目標は経営の発展

幼いころから、毎日農作業に精を出す両親の姿を見ながら育った井上さん。小学生の頃から野菜の苗作りなどを手伝ううちに、将来農業をしたいと必然的に思うようになりました。

福岡農業高校から農業者大学校へ進学し、農業の専門知識を身に着けるにしたがい、将来自分が経営主になり、さらなる経営発展を目指したいと思うようになりました。

農業者大学校卒業後すぐに就農し、地元JAの青壮年部や福岡県農協青年部協議会にも積極的に参加しています。

《これまでの過程》

常に“効率”を考えて

現在の経営面積は25haで、筑紫野市でトップクラスの面積です。また、農産加工にも取り組んでおり、餅やかしわ飯などを直売所等において販売しています。

農業経営を行う上で、一番重視していることは「適期作業」です。農産物の収量確保はもとより、品質の維持・向上に適期作業は欠かせません。また、作業能率にも影響します。どうすれば効率よく作業が進むかを常に考えて、農作業の計画や段取りをきめ細かく行っていきます。さらに、機械のサイズや能力に合わせて作業方法を工夫するなど、能率アップについて常に気を配り、農作業時間の短縮を図っています。また、「農業機械から降りるときは必ずエンジンを切る」等、従業員にも農作業事故防止を徹底指導しています。農作業安全に対する配慮は、JA筑紫の無人ヘリ防除のオペレータとしても十分発揮されています。

昨年、経営移譲により実質的な経営者となり、今まで以上に農作業の効率化を進め、忙しい中でも自分の時間が作れるよう、常に努力を怠りません。



プロフィール

- 家族構成 / 父、母、本人 ■営農年数 / 約17年
- 従業員数 / 1名 ■耕作(経営)面積 / 25ha
- 販路 / JA共販、直売所

《これからの展望》

地域農業の担い手として

土地利用型農業^{*}は、地域との関わりがとても大切です。両親が長年続けてきた近所との付き合いを深め、これからも地域の助け合いを大事にしていきたいと思っています。また、地域農業の担い手として今後も規模拡大に努め、少しでも地元農業の発展に手助けができればと思っています。

栽培部門の規模拡大に併せて、今後、加工部門についても新商品の開発などを行い、将来は法人経営を目指しています。

土地利用型農業・・・土地を直接的に利用して行う農業(稲作等)



Good 成功のためのポイント

「品質のいいものを作る」これが一番大切だと思います。いいものを作れば収益も上がり、収穫や選別等の効率も良くなります。そのためには、日々の努力と常に考える習慣が大事です。